

第一章

案ずるより産めば愛し？ ～わたしの妊娠、出産～

妊娠を「おめでた」っていうけれど ～隠された事実と心の傷～

なぐさめの言葉はいらない ～失意のどん底から学んだこと～

母として ～次男の妊娠と誕生の意味～

新たな妊娠

22 18 14 10

第二章

親の心子知らず 子の心親わからず

知識は助けてくれない ～子育ては慢性胃炎の始まり～

知識は助けてくれない ～頭足人を描かない～

30 28



第三章

のど元過ぎれば「にが苦さ」忘れる

知識は助けてくれない　　～参観日に泣く～

転勤から始まる子育て　　……………

三男の子育て不安　　～イクメンって何？～

お兄ちゃんのプレッシャー　　……………

次男の変身　　～やはり野に置き蓮華草～

さすがの三男　　……………

命ってはない　　～一羽の雀のこと～

子どもらしい子ども　　……………

オレの土俵！　　～長男の挑戦～

オレの土俵！　　～何よりもお絵描きが好き～

オレの土俵！　　～もがき苦しんだから～

第四章

育児は人（子ども）のためならず

思春期！ 来た〜！！

長男、いきなりの結婚宣言

挫折からの引きこもり

長男の結婚

73

74

87

90

親になる、親になれる

問題行動が教えてくれた

やってやれないことはない やらずにできるはずがない

出会うことで救われたわたし

子育ての意味と意義

96

99

101

106

109



第五章

千に一つの仇もない

自分を生きる 114

下駄を預けて 120

「仕事」と「子育て」と 126

心の解放 131

どんぐりさんの誕生
　　～五十歳になる春に訪れた転機～ 135

つなげる役目 139

おわりに 143

わたしの使命 143